



やるきほんききさき 木佐木

神奈川県議会議員
日本共産党

2024.12.4
木佐木ただまさ news
発行：党横浜北東地区委員会
横浜市鶴見区潮田 3-147-6
TEL：045-511-1021

Profile
▶1984年山梨県出身
▶鶴見区馬場在住
▶神奈川大学法学部卒
▶よこはま健康友の会会長
▶横浜東民商顧問

県民に喜ばれる既存住宅省エネ改修補助増額を!

11月11日、決算特別委員会の審査で「既存住宅省エネ改修事業費」について取り上げました。

この事業は、既存の住宅の窓などを断熱化することで省エネを進め、2050年の脱炭素社会に向けて、家庭部門での省エネを促進するために平成30年から始められてきました。内容としては、県内で居住している住宅を対象に断熱性能の高い窓等に改修する経費の一部を補助します（詳しくは右図参照）。

// 補助額等

補助対象経費の3分の1又は20万円のいずれか低い額を上限とします。

改修箇所	要件	補助対象経費	補助上限額
窓（玄関ドア含む）	必ず改修（注意）	材料費及び労務費	20万円
壁	任意の改修	材料費及び労務費	
天井	任意の改修	材料費及び労務費	
床	任意の改修	材料費及び労務費	

（注意）外気に接する窓（玄関ドア含む）を改修することが必須となります。

使いやすい要件で利用者急増!



Q. 近年の予算・決算額と予定件数、実際の補助件数の推移は？

A. R3 予算450万、決算428万余、予定件数60件、補助件数

62件。R4 予算450万、決算422万余、予定件数60件、補助件数62件。R5 予算9000万、決算2011万余、予定件数600件、補助件数203件。

Q. R5の決算額と補助件数が伸び悩んだ要因とR6の改善点は？

A. 補助対象となる窓の場所や箇所数について要件を緩和した。補助上限についても15万円から20万円に引き上げた。その結果、R6は350件を超える申請となっている。

Q. R6は4月末募集開始、8月には募集締め切りとなるほど好評を博している。補正予算を組むなどして事業を進めるべきではないか？

A. 補助対象となる窓の場所や箇所数について要件を緩和した。補助上限についても15万円から20万円に引き上げた。その結果、R6は350件を超える申請となっている。

Q. 県内の住宅450万戸に国の省エネ基準適合率をあてはめると350万戸近くが未適合となる。今後、既存住宅の省エネ改修を進めていく必要性は非常に高く、来年度の本事業の補助率や補助額、予定件数を広げていくべきではないか。

A. 予算調整の中で議論し、引き続きしっかりと取り組んでいきたい。

【要望】

WHOの「住宅と健康ガイドライン」では、室温を保つことは健康にも資するとされている。気候危機という大きな社会的目標に向かう取り組みであると同時に、健康寿命の延伸やそれに伴う費用にも効果が期待されることは医療介護の観点としても重要。

災害時在宅避難の際に室温が保たれることや地元の事業者の仕事おこし、光熱費の節約による県民生活という点からも、県のような事業に効用をもたらす有用な事業として、位置づけを高めて予算を拡充することを求める。

質問の動画はこちらからご覧ください→

